

# 全鉄連だより

平成 29 年 1 1 月号 (第 14 号) 全国鉄鋼販売業連合会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 6F 電話 03-3808-2350 FAX03-3808-2358

## 9 月金属課ヒアリング

## 堅調な需要動向だが末端まで波及せず

9 月 25 日 (月) 午後 3 時より経済産業省内で金属課ヒアリングが開催された。席上、阪上会長から「需要は堅調だが、メーカー値上げに対する転嫁が未達となっている。これを解消できるか、難しい状況となっている。メーカーは紐付き価格を値下げした。一方、我々の仕入価格は上昇しており、転嫁のハードルが高くなっている」と景況感が良くなっているなかにあっても、問題点があることを指摘していた。「最近の粗鋼生産量について、電炉鋼は前年比プラスで推移している一方で、転炉鋼は前年割れが続いているが、その理由は何か」との質問をした。これに対し、金属課から「ご指摘のとおり、本年 8 月の粗鋼生産量を見ると、電炉鋼は 11 ヶ月連続して前年同月比プラスを記録しているものの、転炉鋼は 4 ヶ月連続の

前年割れの状況である。転炉鋼で前年割れが続く理由としては、一部メーカーにおいて、大規模な工事を行ったり、定修が 5 月、6 月に集中したりしたことや、設備トラブルが発生したことによるものと考えられる」との回答があった。

各地区からは「紐付きで忙しいユーザーもあるが、我々の客先には仕事は落ちてきていない。ユーザーの抵抗が厳しく転嫁の進捗が滞りがちだ (東京)」「メーカー値上げ、人手不足などの問題もあるが、需要は堅調。状況は悪くないが、採算割れ回避のため価格転嫁を押し進めていかなければならない (大阪)」「荷動きが出てきた。製造業、建設とも需要は堅調。価格転嫁の遅れが問題点 (愛知)」などの発言があった。

## 流動調査 8 月実績

## 季節的要因でやや落ち込むが前年水準上回る

8 月実績では仕入、販売とも前月比減少であるが、前年比で仕入+6.7%、販売+3.4%と前年水準を上回っている。先々の需要や受注に対して、手配した動きとも受け取れる。一方、在庫は前月

比横這い。前月比では+8.1%増加し、在庫率は 117.7 ポイントと僅かに上昇だが過剰感はない。今後も需要見合いの仕入が継続され、在庫は消化されていくと思われる。

(単位：トン、%)

|      | 仕入量     | 前月比   | 前年比   | 販売量     | 前月比   | 前年比   | 在庫量     | 前月比   | 前年比   |
|------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| 異形棒鋼 | 80,738  | 93.9  | 98.3  | 80,016  | 93.8  | 99.0  | 19,121  | 103.9 | 102.7 |
| 山形鋼  | 25,275  | 93.8  | 111.0 | 26,136  | 100.4 | 106.9 | 52,442  | 98.4  | 108.7 |
| 溝形鋼  | 16,336  | 94.6  | 101.2 | 17,763  | 101.8 | 111.4 | 33,473  | 95.9  | 97.2  |
| H 形鋼 | 59,879  | 100.2 | 119.5 | 60,877  | 106.6 | 111.5 | 93,516  | 98.9  | 111.7 |
| コラム  | 10,805  | 114.2 | 121.1 | 8,064   | 92.0  | 85.1  | 25,019  | 112.3 | 117.5 |
| C 形鋼 | 5,370   | 101.7 | 91.3  | 5,438   | 100.0 | 94.1  | 9,739   | 99.3  | 102.6 |
| 合計   | 198,403 | 96.9  | 106.7 | 198,294 | 99.1  | 103.7 | 233,310 | 100.0 | 108.1 |

(注) ①調査開始、昭和 48 年 4 月。②調査対象企業 東京 31、大阪 21、愛知 15、計 67 社。③平成 12 年 4 月、本調査の対象品種見直しを行い、プレーン、不等辺、I 形鋼、デッキ・キーストンを除外し、コラムを追加した。

## 9月業況アンケート結果 需要、各分野で動き出す

この調査は全鉄連理事・幹事会社151社を対象に毎月実施している。数量調査ではないが、鋼材市場の現状が結果に現れている。回答79社(52.3%) \*DI=A×2+B×1-D×1-E×2

問1 8月の売上数量・金額の前年同月比

|         | A10%以上増 | B5%以上増  | C ほぼ横ばい | D5%以上減  | E10%以上減 | 計・DI   | 前回実績   |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|
| 売上数量(%) | 15(19%) | 15(19%) | 30(38%) | 14(15%) | 5(9%)   | 79・+27 | 74・+12 |
| 売上金額(%) | 24(30%) | 12(15%) | 31(39%) | 10(13%) | 2(3%)   | 79・+58 | 74・+39 |

数量・金額とも前年を上回る水準でまずまずの状況。

問2 8月の企業収益状況

|         | A 黒字    | B 若干黒字  | C 収支トントン | D 若干赤字 | E 赤字  | 計・DI   | 前回実績   |
|---------|---------|---------|----------|--------|-------|--------|--------|
| 収益状況(%) | 15(19%) | 24(30%) | 29(37%)  | 9(9%)  | 4(5%) | 79・+49 | 74・+59 |

前年DI+29、前々年は+10。季節的要因で販売落ち込み、収益も低落するが、長期的には回復。

問3 9月販売量の前月比

|        | A かなり増加 | B やや増加  | C ほぼ横ばい  | D やや減少  | E 減少  | 計・DI    | 前回実績   |
|--------|---------|---------|----------|---------|-------|---------|--------|
| 公共建設   |         | 17      | 28       | 11      | 2     | 58・+3   | 57・-18 |
| 民間建設   |         | 27      | 30       | 10      | 1     | 68・+22  | 63・+16 |
| 自動車    | 1       | 11      | 29       | 3       |       | 44・+23  | 39・-3  |
| その他需要家 |         | 20      | 41       | 8       | 1     | 70・+14  | 66・-6  |
| 仲間取引   | 2       | 15      | 37       | 10      | 2     | 66・+8   | 59・-17 |
| 計・比率   | 3(1%)   | 90(29%) | 165(54%) | 42(14%) | 6(2%) | 306・+14 | 284・-5 |

ようやく動き出した需要だが、多くは望めず。

問4 10～12月の需要動向予測

|        | A 増加    | B 微増    | C ほぼ横ばい | D 微減  | E 減少  | 計・DI   | 前回実績   |
|--------|---------|---------|---------|-------|-------|--------|--------|
| 需要動向予測 | 16(21%) | 43(56%) | 15(20%) | 3(4%) | 0(0%) | 77・+94 | 71・+80 |

先々の需要増加の手応えあり。前年9月DIは+78。

## 10月鉄流懇 販売ジリジリと増加、ネックは価格転嫁

10月26日(木)で阪上会長は「全鉄連流動調査では4～6月期、7～9月期とも販売は前年同期比2%増となっている。10月も好況とまではいかないが、堅調さを持続している。相変わらずメーカー値上げ分の転嫁が滞りがちだ」と現況を述べていた。橋本鉄流懇会長は「年初、原料問題や需要面で不安感があったが、現在は順調。在庫動

向も悪い方に行くような数値は見られない」との見解を述べていた。見通しとして「中国動向には注視が必要だが、内需では建築物件が着実に出ており、製造業関連も概ね良好である」と述べ「材料供給含め、慎重な姿勢を堅持していく」と指針を示した。

流動調査9月実績 在庫前年比15%ほど増加だが、過剰感なし

9月実績では前月比、前年比の双方で仕入、販売とも増加。市況はメーカー値上げで上伸だが依然として転嫁未達のみである。品種別では山形鋼、溝形鋼の販売が前月比、前年比共増加している。H形鋼販売は前月比減少、前年比微増となっており、在庫では前月比増加、前年比著増となっているが、過剰感を指摘する声はない。異形棒鋼

は販売で前月比増加、前年比減少である。異形棒鋼、H形鋼は建材製品の双璧であるが、前年比で販売が伸びておらず、在庫が増加している点が懸念される。需要堅調が持続する見込みなので、これは払拭されるかもしれないが、注視すべき動向であろう。

(単位：トン、%)

|      | 仕入量     | 前月比   | 前年比   | 販売量     | 前月比   | 前年比   | 在庫量     | 前月比   | 前年比   |
|------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| 異形棒鋼 | 83,045  | 102.9 | 100.0 | 83,301  | 104.1 | 98.8  | 18,865  | 98.7  | 108.5 |
| 山形鋼  | 25,691  | 101.6 | 110.3 | 27,526  | 105.3 | 108.6 | 50,607  | 95.1  | 109.6 |
| 溝形鋼  | 19,622  | 120.1 | 121.5 | 18,793  | 105.8 | 107.5 | 34,302  | 102.5 | 103.6 |
| H形鋼  | 62,035  | 103.6 | 119.4 | 59,336  | 97.5  | 100.6 | 96,215  | 102.9 | 125.5 |
| コラム  | 10,283  | 95.2  | 107.2 | 8,982   | 111.4 | 103.7 | 26,320  | 105.2 | 118.5 |
| C形鋼  | 6,080   | 113.2 | 99.7  | 5,752   | 105.8 | 93.6  | 10,067  | 103.4 | 106.6 |
| 合計   | 206,756 | 104.2 | 108.7 | 203,690 | 102.7 | 101.4 | 236,376 | 101.3 | 115.4 |

## 10月業況アンケート結果 販売、収益とも順調な回復

この調査は全鉄連理事・幹事会社151社を対象に毎月実施している。数量調査ではないが、鋼材市場の現状が結果に現れている。回答77社(51.0%) \*DI=A×2+B×1-D×1-E×2

問1 9月の売上数量・金額の前年同月比

|         | A10%以上増 | B5%以上増  | Cほぼ横ばい  | D5%以上減 | E10%以上減 | 計・DI   | 前回実績   |
|---------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|
| 売上数量(%) | 17(22%) | 14(18%) | 32(42%) | 9(12%) | 4(5%)   | 76・+41 | 79・+27 |
| 売上金額(%) | 22(29%) | 21(28%) | 25(33%) | 5(7%)  | 3(4%)   | 76・+71 | 79・+58 |

需要堅調を背景に順調な回復を辿る。

問2 9月の企業収益状況

|         | A黒字     | B若干黒字   | C収支トントン | D若干赤字 | E赤字   | 計・DI   | 前回実績   |
|---------|---------|---------|---------|-------|-------|--------|--------|
| 収益状況(%) | 27(36%) | 23(31%) | 19(25%) | 5(7%) | 1(1%) | 75・+93 | 79・+49 |

前年DI+85、前々年は+58。収益DIは三桁に迫る。

問3 10月販売量の前月比

|        | Aかなり増加 | Bやや増加    | Cほぼ横ばい   | Dやや減少  | E減少   | 計・DI    | 前回実績    |
|--------|--------|----------|----------|--------|-------|---------|---------|
| 公共建設   | 1      | 23       | 30       | 3      | 2     | 59・+39  | 58・+3   |
| 民間建設   | 2      | 33       | 25       | 2      |       | 62・+56  | 68・+22  |
| 自動車    | 2      | 17       | 20       | 2      |       | 41・+46  | 44・+23  |
| その他需要家 | 3      | 28       | 31       | 4      |       | 66・+45  | 70・+14  |
| 仲間取引   |        | 21       | 39       | 5      |       | 65・+25  | 66・+8   |
| 計・比率   | 8(3%)  | 122(42%) | 145(49%) | 16(5%) | 2(1%) | 293・+40 | 306・+14 |

全分野で販売動向好転。公共、民間とも建設需要、動き出す。

問4 11～1月の需要動向予測

|        | A 増加  | B 微増    | C ほぼ横ばい | D 微減  | E 減少  | 計・DI   | 前回実績   |
|--------|-------|---------|---------|-------|-------|--------|--------|
| 需要動向予測 | 7(9%) | 46(60%) | 18(23%) | 4(5%) | 2(3%) | 77・+68 | 71・+94 |

冬場の不需要期を見据えても増加の手応えあり。前年10月DIは+44。

## 各地区団体活動報告

### 東京鉄鋼販売業連合会（齊藤栄一会長）

①9月15日（金）工場見学会を実施。見学先は大阪市内の太平鋼材工業㈱、堺市の三協則武鋼業㈱堺工場と清和鋼業㈱堺スチールセンター。20名が参加した。

②全国厚板シャリング工業組合東京支部、浦安鉄鋼団地協同組合、同連合会共催による第8回鉄鋼流通団体合同野球大会は11月19日（日）に浦安鉄鋼団地内清水球場で準決勝、決勝を行い、大会を終了した。優勝・小野建㈱、準優勝・㈱マテックス、3位・入船鋼材㈱、関根床用鋼板㈱。

### 大阪鉄鋼流通協会（阪上正章会長）

9月29日（金）ボウリング大会を大阪市北区の桜橋ボウルで開催。1チーム3名で20チームが参加した。団体戦では清和鋼業㈱が優勝した。

### 愛知鉄鋼販売業連合会（早川望会長代行）

11月15日（水）同連合会条鋼部会主催による工場見学会を実施。約40名が参加した。見学先はJFEエンジニアリング津製作所とジャパマリンユナイテッド津事業所。

### 東北鉄鋼販売業連合会（齊藤芳郎会長）

①9月19日（火）20日（水）の両日、北海道鋼友会との交流会を小樽市で開催。両会から約30名が出席した。

②11月10日（金）仙台市内「パレスへいあん」で本年度第3回例会を開催。講演会も併催。講師は天谷武氏（新日鐵住金㈱仙台支店長）。

### 北海道鋼友会（今井國雄会長）

①9月19日（火）20日（水）の両日、東北鉄鋼販売業連合会との交流会を小樽市で開催。両会から約30名が出席した。

②10月24日（火）札幌市内で秋の例会を開催。全道から28名が参集。例会に先立ち、高澤直之氏を招き「難局（南極）の日々」と題する講演会を行なった。同氏は第54次南極局地観測隊員として同地で越冬した経験を持つ。

### 新潟県鉄鋼販売業連合会（渋井信之会長）

10月27日（金）JFEスチール東日本製鉄所・京浜地区の見学会を開催。会員会社の現場社員中心に約40名が参加した。

### 福岡鉄鋼販売業組合（竹田奉正理事長）

11月18日（月）北九州鉄鋼販売業組合と合同で懇親ゴルフ大会（16名参加）と懇親会（20名出席）を開催した。

### 北九州鉄鋼販売業組合（小野建理事長）

11月18日（月）福岡鉄鋼販売業組合と合同で懇親ゴルフ大会（16名参加）と懇親会（20名出席）を開催した。

### 福井県鋼材販売事業協同組合（山本直孝理事長）

11月4日（土）福井県建設鉄工協同組合との合同親善ゴルフコンペを開催した。この大会は県内の鋼材販売店と日ごろ関係の深いファブリケーターとの親睦を目的に毎年、開催している。

平成30年度全鉄連総会、期日・会場決まる

平成30年6月15日（金） 静岡市「ホテルセンチュリー静岡」詳細続報

（了）